

謹賀新年

本年も
どうぞよろしく
お願い致します



題字: 居宅介護支援事業所
森 圭介

平成二十九年
せいひ会職員一同

12月の行事

- 16日 運営推進会議・クリスマス忘年会(GH)
- 19日 クリスマス会(通所・丘の家)
- 21日 柚子湯・冬至(GH)
- 24日 クリスマス会(じゅげむ)
- 24日・25日 クリスマス会(風和)
- 25日 合同クリスマス会(寿限無)
- 27日 合同餅つき(じゅげむ・寿限無)
- 28日 もちつき(風和)

1月の行事予定

- 01～06日 初詣(各事業所)
- 06日 琴海保育園の鬼火だき参加(じゅげむ)
- 11日 鏡開き(GH)
- 27日 せいひ会職員新年会

インフルエンザ等の感染予防について

インフルエンザやノロウイルス等が流行する時期です。施設来苑時の手指消毒やマスク着用など、皆様方のご協力をよろしくお願い致します。

12月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます



服部 ムツ子様 久野 明美様 山田 フミ子様 松尾 伸二様 岡本 シナ様 浦崎 福江様



山口 エイ様 森下 クミ様 志田 ツヤ様 平井 キサ様 山川 トモ様



嶋崎 ハル様 相田 トミエ様 鍛塚 ミキ様 岡田 コタカ様 田中 アキ様

バースデインナー



川口 春一様
おめでとうございます



川口 春一様



御家族、西海市長と一緒に

横道 富治様 今回は元亀の里：横道富治様にお話を伺いました

新年を迎えて最初のインタビューは、元亀の里の利用者・横道富治様。
大正12年、琴海・長浦(現在の長崎市長浦町)に6人兄弟の4番目として出生。学校卒業後は、長崎市内にあった製紙会社に3年勤務。当時の事をたずねると「あの時はよう気張った」と懐かしそうに思い出されていました。
終戦前に製紙会社を退職し、長浦に戻ってからは野菜や果物を作っていたとのこと。なかでもミカンについては、生産だけでなくとまらず販売にも携わり、飛行機や夜行列車を使って東京・千葉・福島まで出張

したそうです。農業を営むかわら、ボランティアで民生委員と一緒に福祉関係の活動にも参加し、「沖縄で発表したこともあった」と話される様子は少し誇らしげでした。
現在は「あれこれ活動することは考えず、穏便に、生活を送りたい」と、穏やかな日々を過ごす事を望まれています。また、「折り紙が好きでね」と、バラや花瓶置きなど、いま作っている作品を見せてくれました。
これからも色々な作品を作りながら、穏やかにお過ごしください。



Vitality Space

バイタリティー・スペース



秋浦克敏
**軒意
昂気**

通所：秋浦克敏

五冬

通所：竹下晶子

今月の作品



GH利用者による書道です。見てると元気がもらえます。

敬老会
親子で踊った
(風和) 大川 千代子
黒田節

メリー・クリスマス!!



【じゅげむ】

ボール転がしゲームで盛り上がった後は、職員のグラスハーブの演奏で楽しみました。その音に「わー！きれいな音ね」と、皆さんウツトリ。



【丘の家】

職員が扮したサンタとビンゴゲームをしたり、記念撮影等を行い楽しみました。



【風和】

玄関のツリーは、利用者の皆さんが飾り付けてくれました。ユニットごとのクリスマス会では、おやつ作りを楽しんだところもありました。



【GH】

御家族も一緒に、忘年会を兼ねた会を開きました。メニューはちゃんこ鍋。お腹いっぱいになった後は、クリスマスソングを歌って盛り上がりしました。



もちつき



【寿限無】

小規模多機能じゅげむと合同で行われたもちつき。利用者の「よいしょ！よいしょ！」の声かけに、職員の杵を持つ手にも力が入り、昨年より上手につき上がりました。参加した方は「何十年ぶりに（餅つきを）した！」と、大喜びでした。

【風和の里】

今年は、元亀の里とグループホームからも見学に來られ、ふくろうホールはいつも以上の賑やかさに。皆さんの掛け声と手拍子に合わせ、職員が餅をつく姿を見て、ある利用者の方は「ちょっと力入れ過ぎね(笑)」と苦笑い。女性利用者の手で丸められたお餅は、中にあんこを入れておいしくいただきました。

柚子湯 (冬至)



12/21、グループホームでは柚子湯を楽しみました。柚子のいい香りが漂う中のお風呂は最高！また、この日のお昼ご飯は「南瓜(なんきん)ごはん」。冬至の日に「ん」のつく食べ物を食べると、運が呼び込めるそうです。これで皆さんの今年の運氣もバッチリですね！



ずいずい
随・随

ずっころばし

せいひ会の職員が、思うがままをリレー方式で綴るコーナー。今月は、総務部・中尾さんです。

～地元紹介～

私の生まれ育った、旧外海町神浦大中尾地区には広さ約8ヘクタール、450枚の田んぼが広がる大中尾棚田があります。大中尾棚田は、平成11年7月に農林水産省が認定した「日本の棚田百選」に選ばれ、これを契機に平成14年3月、それまで水路から棚田の管理等を担ってきた、大井手水路保全組合を母体に大中尾棚田保全組合が設立され、次世代へ引き継ぐための活動を続けています。

平成14年度から県下で初めて「棚田オーナー制度」を導入し、その数は年々広がりを見せながら増加し、平成26年度には33組がオーナーになっています。また、地元の

小中学生や県外からの修学旅行生も体験学習のため多数参加しており、地域住民とオーナー等の交流の中で地域住民も地域の宝である棚田の存在を強く意識するようになっていきます。

平成20年度には全国棚田サミットが長崎市・雲仙市共催で開催され、これを契機に棚田を竹灯籠で彩るイベント「火祭り」がスタートし地域住民とオーナーとの協働による新しい取り組みとなりました。昨年も10月29日皆様のご協力のもと無事開催することができました。今年以降も継続していけるよう微力ながら協力していきたいと思っています。

新人職員紹介



元亀の里
楳座 正義さん

今まで医療の現場が仕事の中心でしたので、介護施設で働くことに不慣れなところがありますが、一生懸命頑張っていきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願いします。



通所リハビリ
前田 真也さん

9月から元亀の里リハビリ室でお世話になっている前田です。これまで病院で主に整形外科疾患のリハビリ業務に携わってきました。これからは地域医療が大事だと感じ、当施設の様々な取り組みに魅力を感じました。その施設で働かせて頂けるので光栄です。